

「（ご）専門は？」と聞かれる
と、「認知脳科学です」と答
える」としている。むろに
「認知脳科学はどんな学問で
すか？」と聞く人がいれば、
「心を脳のはたらきとして理
解しようとする科学です」と
答えようと思つ。理系・文系
の区別は、認知脳科学に必要
ない。物理学者と心理学者が
互いに語り合えるよつた場だ
と思っている。そんな風に考
えるようになったのは、私の
遍歴に原因があるよつだ。
私は、高校の時からずっと
物理学に憧れていた。進学す
るなら物理学科、と堅く心に
決めていた。それがどうした
わけか、駒場の二学期の終り
頃、急に生物学を勉強したく
なった。究極の素粒子や宇宙
構造の謎と同じように、生命
現象は不思議に満ちている、
と考えるよつになつた。そし
て三学期が始まる直前、物理
学科で生物物理学を專攻しようと
うと思い立つた。今から思い
返すと、この選択が私の遍歴
の始まりであつた。

構造の謎と同じように、生命現象は不思議に満ちている。考へるよになつた。そして三学期が始まる直前、物理科で生物物理学を専攻しようと決意立つた。今から思ひ返すと、この選択が私の遍歴の始まりであった。



酒井 邦嘉

構造の謎と同じように、生命現象は不思議に満ちている。そして考へるよくなつた。そして三学期が始まる直前、物理学科で生物物理学を専攻しようと立った。今から思へば、この選択が私の遍歴を送ると、この選択が私の遍歴を

構造の謎と同じように、生命現象は不思議に満ちている。それを考えるようになった。そして三学期が始まる直前、物理学を専攻しようと思いつた。今から思い返すと、この選択が私の遍歴の始まりであった。

本郷に移って、堀田凱樹先輩の指導で、この選択が決まったのである。なぜなら、遺伝子レベルの実験を重ねていくうちに、脳の研究を本気でやりたくなつたからである。折しも、医学部の宮下保司先生の新しい教室に参加することになつて、

構造の謎と同じように、生命現象は不思議に満ちている。それを見るようになつた。そして三学期が始まる直前、物理科で生物物理学を専攻しようと思つた。今から思い返すと、この選択が私の遍歴の始まりであった。

本郷に移つて、堀田凱樹先生セントラル・ドグマに決定されることになったのである。なぜなら、遺伝子レベルの実験を重ねていこうとに、脳の研究を本気でやりたくなつたからである。折しも、医学部の宮下保司先生の新しい教室に参加することになつて、脳機能イメージ

。またしても決定
は思った。
ならずのうちに、私
も決定論が進行し
い。脳の次は行動
教室の助手になつ
MRIという新しい
ーリングの技術が

期部会の名は心理学教室である。私の歴史は、物理学から生理学、そして心理学にまで及んだことになる。心理学に漂着したといつて、脳の決定論に迷を述べる」とした

私は、高校の時からずっと物理學に憧れていた。進學するやうになつたのは、私の通歴に原因があるやうだ。

思っている。そんな風に考
えるようになったのは、私の
歴史に原因があるようだ。
私は、高校の時からずっと
物理学に憧れていた。進学す
るなら物理学科、と堅く心に
決めていた。それがどうした
わけか、駒場の二学期の終り
頃、急に生物学を勉強したく
なった。究極の素粒子や宇宙

めアメリカで報告された。何とかこの手法を使って、ヒトの認知行動を調べたい。日立と共同でfMRIの実験を始めた二年後、とうとうこの熱病が昂じて、fMRIのメックカニーであるボストンに向かった。実際にボストン行きの飛行機の中では、五時間ごとに解熱剤のお世話になってしまつた。